

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ミラカチ・ジョイ		
○保護者評価実施期間	2025年2月1日 ～ 2025年2月28日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30 (回答者数)	26
○従業者評価実施期間	2025年2月1日 ～ 2025年 2月 28日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12 (回答者数)	12
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちや保護者の方の力になりたい！という想いで動ける職員が多いこと。	職員に対して方針や想いの共有を積極的に行っている。	体制が今後変わっても方針がぶれないように工夫をしていく。
2	子どもたちの「たのしい！」をたくさん引き出すことができる ところ	子どもたちだけでなく職員の表現も大切にしている。	研修計画をしっかりと作り職員育成にさらに力を入れていく。
3	どんなことでも親身になって迅速に対応できること	常に相手の気持ちになることを意識して動くようにしている。	職員同士でも思いやりを大切にしてい

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	障がいのない子どもと活動する機会がすくない	日常の支援での交流が難しい（外出が難しい等） 交流先がすくない	・外出ができる体制づくり ・保育園や幼稚園等と交流できるように関係を作っていく
2	業務が多く、全員で支援について話す機会がなかなか取れない	職員の人数が足りなかったり共有が十分にされていないことがある。	共有ノートやホワイトボード等を活用し、しっかりと周知も していくようにする。余裕の持てる人員配置にしてい
3	関係機関と連携した情報等を職員間で共有することがなかなか できない	全職員がそろることが難しいので情報の共有の工夫を考える。	ファイルを項目ごとに作成する等工夫をしていき全職員に情 報が共有できるように工夫していく。

事業所名 ミラカチ・ジョイ

公表日 2025年 3月 25日

配布期間 2025年 2月1日～2月28日 利用児童数 30名 回収数 26

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	27	0	0	0	・広いスペースが確保されている ・部屋は広くとても使いやすそうに見える広さがあるので動きやすいと思う	のびのびと活動できるように常に片付けて広いスペースを確保して支援を行いやすくしております。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	24	0	0	3	・他のディを利用しているが他のディより人が多いように思う、車の送迎に2人配置されていてとても安心感がある。	送迎時は安全確保のために複数の送迎時にはできる限り2人を配置しております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	25	1	0	1	・玄関も子供が使いやすいように考えられているトイレは子供用のトイレでとても子供のことを考えていると思う。お昼寝の部屋など使い分けがされていて動線も考えられていて子ども目線で考えられている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	25	0	0	2	・中が見えないのでわからない ・明るい雰囲気は保たれており、いつもきれいな様子です。 ・とてもきれいで部屋やトイレの色も可愛い色の壁紙になっていて過ごしやすいように思う。部屋も目的で分けてあるので使いやすわかりやすいと思う。	
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	24	0	0	2	・子供の好きに付き合ってくれたり、しっかり向き合ってくれる。家では出来ないカリキュラムがあり、とても良い経験が出来た(石に絵を描いたり、感触遊び、平均台遊びなど)	・当事業所は「子どもたちの心のよりどころに。のびのびと自己表現できること」を大切に支援を行っております。子供たちの土台作りや子供たちが楽しみながらのびのびと成長できるよう今後も様々な内容を考えていきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21	1	0	0	・子供が作ったゲームやルール、ストーリーなどに話しを聞き、子供にあわせて対応した遊びをしてくれる。 ・合っていると思う。 ・色々な遊びを取り入れていて、種類も多いので子供が飽きにくいと思う。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	26	0	0	0	・支援計画作成時は職員2人と面談をし、時間もしっかりと話し合いをしてくれる。何か不安や悩みなども送迎時や電話などすぐに対応して時間を取ってくれる。	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	25	0	0	1	・子どもの興味や好奇心を持てるような内容、体で体験する。感触など様々な方向から五感を刺激する、促すような支援内容を考えて取り組んでいると思う。色々なことを考えていてすごいなぁと思う。私たちとても参考になる。どれも子供は楽しめているので「楽しい」をとても考えていると思う。「たのしい」はとても大事だとおもうのでよく考えられた内容だと思う。	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	26	0	0	0	・支援が行われていると思う。日々の変化なども教えてくれる。	・職員で話し合いながら子供たちの成長を確認しながらより成長できるように支援を行っております。今後もより子どもたちの成長を促せるよう支援を行っていきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	25	1	0	0	・利用する度に異なる活動を取り入れてくれていて経験を豊かになっています。 ・活動プログラムの月間予定を教えてもらえる助かる。 ・とても工夫されていると思う。色々なことをやっていて子どもは飽きてこないのではないかなと思う。応用力がとてもあると思う。	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	8	2	3	13	・未就園児のため分からない ・他との交流は聞いたか分からない。	・現在はイベントのみのなので今後は日常支援でも交流の機会を作っていきます。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	26	0	0	0	・様々なことでも丁寧に説明してくれる。他ディで説明などしない所もあるのでとても信頼できる。	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	24	0	1	1	・支援内容の説明は必ずしてくれる。日常の様子なども話具体的にわかりやすく説明してくれて、分かりやすい。	・今後も保護者さまにも理解しやすいように説明をしていきます。

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	22	0	3	1	・おしゃべりカプエが有り助かります。 ・相談を申し込むとすぐに対応してくださり、親身なアドバイスをいただけます。 ・ディの考え、保護者(私)の考えを話し、方向性を合わせ、声掛けの仕方や褒め方、なだめ方など様々なことの話し合いができた。色々なことを教えてくれとても熱心に対応してくれた。子供のことを第1に考えてくれた。 ・当日お休みのメールを送るとなんで休んだのか理由を聞いてくれる。怪我したことなどに教えてくれる。スタッフが気付かなかった怪我などを伝えるとその日のうちにどこでどう怪我したか調べて報告し、とても早い対応をしてくれた。	・今後ペアレントトレーニングも含めご家族様への支援も充実させていくよう努めます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	26	0	0	0	・また通所し始めて日が浅いので面談等はこれからかと存じます。 ・こまめに面談の機会が用意されています。 ・定期的に面談がある。月に1度保護者が参加できるおしゃべりカフェなどがある。何時でも誰にでも相談すると嫌な顔せず笑顔で話を聞いてくれる。	・規定の年2回の面談及び個別相談なども積極的に取り入れています。また日常にもご相談あれば随時お話を伺っています
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	25	1	0	0	・スタッフの皆様がとても理解があり、共感してくれる。否定されないし、子供の話をしっかり聞き、寄り添おうとしてくれる。 ・子供の「好き」を受け入れて一緒に遊んでくれる。子供の好きに全力で付き合ってくれる(武器などの工作や絵、図鑑作り、衣装作りなど子供のやりたい事全て)	・当事業所は「お子様の成長に保護者さまとともに寄り添う」を理念としております。また子どもたちに寄り添い共感しあうことで心も成長していくと考えております。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	26	0	0	0	・また通所し始めて日が浅いので定期的にあるのかもしれませんが存じ上げていないためこちらの回答とさせていただきます。 ・毎月1回のおしゃべりカフェやクリスマス会、ありがとう会を開催してくれて保護者同士の交流がある。他ディではやらないのでできていることがすごいと思う。	・家庭連携加算を活用し相談業務にも取り組んでおります。今後もより気軽に活用していただけるよう工夫してまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	19	3	0	4	・相談をしたいというすぐに話を聞いてくれる。送迎時など。電話をしても長時間でも真剣に話を聞いてくれる。度のスタッフでも同じように対応してくれて、土のスタッフも嫌な顔しないので、ディの方向性、考え方がスタッフ間で共有されていると思う。 ・口頭やノートをとおしてやりとりが十分にできています。 ・子どもを第1に考えて大切にしてくれるだけではなく親のことも大事にしてくれる。子供の性格も考え配慮した声がけや対応をしてくれる。	・毎月会報をくれる。自己評価の結果はよくわからない。行事予定などの会報をくれる。6か月に1回子どもの活動した写真をコピーして成長記録をくれる。会報とてもうれしいです。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	26	0	0	0	・クリスマス会やありがとう会などSNSや会報に顔を載せるか同意するしないかと聞いてくれる。	・月のお便りは毎月発行しております。また自己評価等はHPなどにも掲載しております。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	26	0	0	0	・いろいろなマニュアルはくれるし、説明もある。玄関にヘルメットを置き、避難場所詳細の紙や災害伝言ダイヤルの取り組み(持ち運びできるようにラミネートされた物)が配布される。素晴らしい。感染はその都度メールで教えてくれる。マニュアルがしっかりしている	・個人情報の取扱いはもちろんのことSNSに掲載する際にも常に確認をさせていただき投稿する前にも事業所内でも何度も確認して掲載させていただいております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	26	0	0	0	・毎月会報をくれる。自己評価の結果はよくわからない。行事予定などの会報をくれる。6か月に1回子どもの活動した写真をコピーして成長記録をくれる。会報とてもうれしいです。	・月のお便りは毎月発行しております。また自己評価等はHPなどにも掲載しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	26	0	0	0	・クリスマス会やありがとう会などSNSや会報に顔を載せるか同意するしないかと聞いてくれる。	・個人情報の取扱いはもちろんのことSNSに掲載する際にも常に確認をさせていただき投稿する前にも事業所内でも何度も確認して掲載させていただいております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	26	0	0	0	・いろいろなマニュアルはくれるし、説明もある。玄関にヘルメットを置き、避難場所詳細の紙や災害伝言ダイヤルの取り組み(持ち運びできるようにラミネートされた物)が配布される。素晴らしい。感染はその都度メールで教えてくれる。マニュアルがしっかりしている	・毎月避難訓練を行っています。また引き渡し訓練は全利用児童に行っていました。またお便り等でも避難訓練の様子をお伝えしていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	26	0	0	0	・避難訓練をしている。その他は聞いたか分からない。全ての曜日をいついないので分からない。	・毎月避難訓練を行っています。また引き渡し訓練は全利用児童に行っていました。またお便り等でも避難訓練の様子をお伝えしていきます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18	0	0	2	・玄関にヘルメットがあり、避難経路、避難場所、災害伝言ダイヤルなどの災害対策もしっかりしているし、流行っている病名もすぐに教えてくれる。 ・部屋は、綺麗で広くて、窓に安全柵もあり、トイレは子供サイズになっていて子供目線で考えている。 ・色々な面で子供の安全が考えられていて安心して預けられる。	・こどもの安全は第一で考えております。またお気づきな点がございましたらご意見ください。改善していきます。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	0	0	2	・怪我、体調不良など逐一細かく子供の様子を教えてくれる。一度、怪我の報告がなかったが、20時頃で時間外なのに、問い合わせるとすぐに詳細を教えてくれ、謝罪してくれた。なぜ報告が出来なかったかの理由も言ってくれ、早い対応だった。とても真摯な対応だった。信頼出来ると思った。	・大切なお子様を預かっているので体調やけが等には職員一同常に意識しておりますが、気付かない場面もありその際には迅速に職員全員に聞き合わせして対応しております。今後も怪我等が無いよう職員一同気を引き締めてお子様の安全安心を保てるよう努めさせていただきます。

満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	26	0	0	0	・安心して行っていると思う。 ・別のデイでお友達に叩かれた事が理由で行かなくなった時期があった。子供の話だとミラカチ・ジョイでも叩くお友達がいたと言った。話した後、休むのかと様子をみていたが、嫌がらずに行った。似た出来事だけど、行ける、行けないの違いは、スタッフの方々との信頼だと思った。子供を氣にかけたり、声がけなどが良かったので子供は、安心して行けるのだと思った。お友達との関係も大事だが、1番はスタッフの方々との信頼関係が大きいと思う。行かなくなった事があったり、トラブルもあったがどれもスタッフの方々がすぐに動いてくれ、子供の要望にも対応してくれた。対応出来る、出来ないはあると思うが、しっかりと話を聞いてくれ、子供の嫌な気持ちを取り除く為に考えて提案し、動いてくれたのは子供も家族もとても嬉しかった。 - スタッフの方々は、デイとしての考え方、目標、方向性がしっかり共有されている。どのスタッフの方々に話をしても受け答えがしっかりしていて、相談がしやすい。どのスタッフの方々も信頼出来る。スタッフの方々の熱意がある。 ・初回の通所から毎週楽しみにしている様子が	・お子様の背景には様々なことがありすぐに原因は追究できないものの困ったことがあれば保護者さまと共に今できることの最善を考えてお子様に接しております。お子様が常に安心できて心のよりどころになれるようこれからも務めていきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	26	0	0	0	・つたわります。合っている所が見つかりうれしい限りです。 ・とても楽しみにしている ・楽しみにしている。子どもの「好き」に全力でスタッフのみんなが取り組んでくれる。子どものやりたいことをやってくれる。	・当事業所が子どもたちの心のよりどころ、楽しい場所になるよう常に心がけております。また子どもたちの「やりたい」気持ちを大切に取り組んでおります。今後も子供たちが楽しく通えるよう努めていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	26	0	0	0	・土日に家族が参加できるイベントも増えて子どもとともに楽しい思い出が作れてうれしい。 ・とてもいい施設に巡り合えたと思います。 ・満足している。ただ平日に月1回の会議でお休みがあるのは預け先がないと辛い、困ると感じる	・うれしいお言葉をたくさんありがとうございます。月1日の職員会議は支援の質の向上のためにも必要なため今後も継続させていただきます。ご不便をおかけいたしますがその分よりよい支援に繋げられるよう努めさせていただきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
ミラカチ・ジョイ		2025年 3月 25日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		人員配置基準以上の配置を行っているがより支援が手厚くなるよう、よりゆとりある人員を配置していくよう調整します。	・送迎や午睡の時に手薄になる時がありしっかりと向き合えない時がある。 ・適切ではあるが事務作業など業務で人が抜けると厳しい時がある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者さまからのアンケートやLINEや連絡帳などを通じてご意見をいただける機会を多く作っています。またご意見をいただいた際にはすぐに職員間で話し合い迅速に返答、改善するよう努めています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎月の職員会議だけでなく常に意見交換を行うことを意識しています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		毎月の職員会議の際に活動プログラムを職員全員で考えている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		毎月の職員会議の際に活動プログラムを職員全員で考えている。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎日リーダーを設定して分かりやすく役割分担をしている。また業務が偏らないように協力している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		毎日の支援の時間内に必ず振り返りの時間を持ち一人一人の情報を共有している。また休みの職員も情報が共有できるようにノートを活用している。	全員が振り返りノートを読覧する習慣をつけて情報の漏れがないようにする。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	○			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
保	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	現在はイベントのみなので日常支援の中でも交流できるように地域の保育所などに働きかけていくよう努めます。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		職員全員が把握できるように共有LINEやノートでもヒヤリハットファイルを見るよう促している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			